

トロンピユ・YANAGASE

コンテスト 掲示作品



beyond the door

優秀賞

神奈川県藤沢市 小田垣 椎太 さん

【テーマ】‘扉の向こう側’をテーマに描きました。

元気はつらつな絵ではなく、トロンピユならではの不思議な世界を描きました。制服を着た少女が見つめるのは一枚の絵。それは様々な形状の扉(ドア)が連なり、その奥にはヤシの木の生えたリゾート地が見えます。コロナ禍において外と内の境目である扉の立ち位置は、安全区域を示す境界線のような役割になったのではないのでしょうか。「鬼は外、福は内」と言いますが、外に出ればリスクを気にする必要がある世の中は少し変です。しかし、扉を開けるといふ行為はとてども‘楽しみな’ことです。自分の知らない世界を肌を感じるのは、外に出ないとできません。そんな日を夢見る絵にしたいと描きました。

『トロンピユ』とは

フランス語(Trompe-l'oeil)で、人の錯覚により、一部が外に飛び出して見えたり、立体に見える等の不思議絵・だまし絵のこと

柳ヶ瀬商店街では、柳ヶ瀬の次代のランドマークとなる地上35階建の再開発ビル「柳ヶ瀬グラスル35」の建設が進行中です。

県下でも名高い柳ヶ瀬商店街にさらなる賑わいを創出する市街地再開発事業として期待が高まるなか、工事中における賑わい創出や柳ヶ瀬商店街を訪れる方たちが楽しむことができるよう、「トロンピユ・YANAGASE」コンテストを開催し、工事用仮囲いに皆さんから応募していただいた優秀作品等を掲示しています。

多数の皆様からご応募いただき、誠にありがとうございました。

奨励賞



岐阜市 古田 優馬 さん

【テーマ】 鵜と鮎 ～長良川の逃走劇～

僕の地元である岐阜市。ここには魅力的で美しい自然や生き物で溢れています。その中でも清流長良川の鵜飼として有名な「鵜と鮎」。勢いよく飛び出し、鮎を捕まえようとする鵜の姿をトロンピユとして表現しました。このトロンピユをみて是非！岐阜を感じ取って頂きたいです。



一宮市 田仲 日向 さん

【テーマ】 エビフライの養殖

発案当初は、よくある人魚と小魚のいる水槽にしようと思っておりましたが、ふとエビフライにしたら面白いかもしれないと思い、エビフライの人魚を養殖している水槽というモチーフでトロンピユを描きました。明るい色の衣が目立つように色を塗りました。



名古屋市 伊藤 辰真 さん

【テーマ】 あわてんぼうのサンタクロース

コンセプトとして、見た人に立ち止まって面白おかしく見てもらえるような作品を設定し、その条件のもと、工事の仮囲いが白いことに着目して、サンタクロースの持っている袋を仮囲いを含めた工事現場に見立てて、それをサンタクロースが引っ張って歩いている様子を作品にしました。仮囲いには上部が無く、無理に引きずったことで袋が破れたようにも見えると思います。サンタクロースのポーズは柔道の投げ技を参考にしており、力強くもひょうきんに歩いているサンタクロースを表現しています。

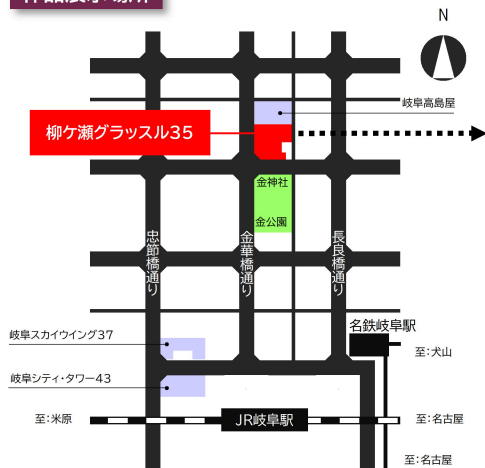


一宮市 岩崎 咲知 さん

【テーマ】 双子の男の子

左右対称の構図にしたかったので、額に入っている男の子の様子を描きました。

作品展示場所



お問合せ



高島屋南市街地再開発組合

〒500-8833 岐阜市神田町六丁目7番地2 こがねビル5階 TEL 058-215-6436

第1回 トロンピユ・YANAGASEコンテスト

最優秀作品

